

コード	602010301
記入日	H25.5.31

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	山口 舞子

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	愛護団体推進活動事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行政による協働のまちづくり	款コード	8
施策コード	602	施策名称	住民参加のしまづくり	項コード	2
基本事業コード	60201	基本事業名称	住民総参加のための体制整備	目コード	1
事務事業コード	6020103	事務事業名称	愛護団体推進事業費	細目コード	906
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町愛護団体活動推進事業実施要綱		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町民		(対象指標1) 22,254人口(H24.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・愛護団体の活動を支援することにより、地域の愛護活動の推進と活性化を図る。 →登録団体数 65団体 (3,156 人) →事業費 718千円 →活動団体数 37団体 →活動回数 83回	*****	*****	*****	活動回数÷ 計画活動回数	*****
		① (達成率分析)	83回	83.0 %		平成24年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	新規加入団体数÷ 計画新規加入団体数	*****
		① (達成率分析)	5団体	250%		平成24年度
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	459	419	339	100	83					
	②										
成果指標	① 団体	63	65	61	2	4					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	7,079	7,007	5,589	1,490	1,418					
直接事業費 A	千円	2,179	2,107	1,389	790	718					
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.7	0.7	0.6	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	7,079	7,007	5,589	1,490	1,418					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	施設の管理者である町が行うべきものである。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	ほぼ計画どおり事業は進捗しているため、特別向上させる必要はない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	最小の経費で最大の効果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	最小の経費で最大の効果をあげる手続きとなり、現在の人員を削減することはできない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	地域に愛着を持ち、地域のために自主活動を実施する愛護団体を育成し、その団体と連携しながら活動を支援していくことは協働のまちづくりの精神にも合致するものである。加入団体数も年々増加しており、今後も団体の活動を把握し支援していくこと。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。